



八幡小だより

北九州市立八幡小学校
校長 田頭 麗宏



自転車の正しい乗り方を



14日(金)、八幡東警察署や交通公園の方に来校していただき、4年生を対象に「自転車教室」を開催しました。子どもたちは実際に自転車に乗ったり、シミュレーターを使ったりしながら、自転車に「正しく」乗らなければならないことを学びました。



自転車は「車両(車の仲間)」です。ですから、「道路交通法」や「福岡県自転車条例」という規則に従って運転する義務があります。規則(交通ルール)を無視した運転が、命に関わる事故につながるかもしれません。とくに「自転車教室」では、ヘルメット着用の大切さなどを説明していただきました。

また、小学生であっても、事故の『被害者』とは限らず、『加害者』にもなる可能性があります。実際に、小学生が起こした自転車人身事故によって、保護者が9千万円以上の賠償金を請求された事例もあるそうです。ちなみに、「福岡県自転車条例」の中には「自転車保険加入の努力義務」が規定されています。

八幡小の校区内には、交通量が多い幹線道路や、見通しが悪く狭い坂道などが多数あります。こうした危険箇所はもちろんのこと、広い歩道や公園などでも、乗り方によっては自転車事故が発生します。実際に、放課後の公園での自転車の乗り方について、保護者の方や地域の方から学校に「危険だ」という連絡をいただき対応したことが何度かあります。

防災や防犯と同様に、交通事故防止でも、さまざまな場面において「危険の芽」が多数潜んでいることを日頃から意識し、すばやく危険を察知して回避する力をつけることが大変重要だと考えます。それが「自分の命は自分で守る」ことであるとともに、「他の人の命を守る」ことにもつながるのです。自転車は手軽で便利な乗り物です。しかし、交通ルールやマナーを守り、思いやりを持った運転をしなければ「危険な乗り物」になることを、ご家庭でもお話しくださいますようお願いいたします。

話は少し変わりますが、子どもたちに自転車の安全走行に関する知識や技能を身につけさせ、交通安全に対する意識を高めることなどを目的に、警察や交通安全協会が毎年「交通安全子供自転車大会」を開催しています。今年、本校からも1チーム(6年生4名)が出場しました。16日(日)のブロック大会で入賞し、来月久留米市で開催される県大会に向けて練習をがんばっています。



「地域とともにある学校づくり」を目指して!

～ 第1回学校運営協議会を開催しました ～

八幡小学校では、本年度から、これまでの「学校評議員制度」を基盤に「学校運営協議会」を設置(設置校=「コミュニティスクール」)しました。コミュニティスクールでは、学校と地域の方などが力を合わせて学校の運営に取り組むため、これまで以上に、学校運営に関する深い話し合い(熟議)を行っていきます。

13日(木)に行われた第1回学校運営協議会では、校長から本年度の学校経営方針の概要を説明した後、意見交換を行いました。今回の議題の中心は、①本校が力を入れている「給食指導」、②運動会の今後の在り方、の2点でした。とくに、運動会については、健康被害を考えたプログラム進行と、家族でお弁当を囲む文化の大切さについて活発な議論が行われました。



※ 敬称略 順不同

※ 情報保護のため、一部情報を削除しています。

八幡小学校 学校運営協議会委員